

会 議 録

会議の名称	第1回行田らしいまち並みづくりとにぎわい創出基本計画検討委員会
開催日時	平成25年11月8日(金) 開会：午前10時 閉会：午後0時10分
開催場所	行田市産業文化会館2階 2A会議室
出席者(委員) 氏名	田尻要 桑田仁 佐野友昭 宮本伸子 朽木宏 並木政夫 富岡誠 (名簿順・敬称略)
欠席者(委員) 氏名	森田孝 沖本孝之 (名簿順・敬称略)
事務局・担当課	【都市整備部】小林部長 【都市計画課】栗原課長 加藤主幹 金子主査 横倉主任 金古主任 【企画政策課】竹井課長 岩田政策推進幹 田島主任 【文化財保護課】中島課長
会議内容	議 事 (1) 策定方針とスケジュールについて(資料①、資料②) (2) 市民アンケート調査結果について(資料③) (3) まち並みとにぎわいづくりに関する特性と課題について(資料④) (4) 景観まちづくりワークショップの概要について(資料⑤)
会議資料	(資料名・概要等) <ul style="list-style-type: none"> • 次第 • 行田らしいまち並みづくりとにぎわい創出基本計画検討委員会設置要綱 • 行田らしいまち並みづくりとにぎわい創出基本計画検討委員会名簿 • 行田らしいまち並みづくりとにぎわい創出基本計画検討委員会会議傍聴要領 • 行田らしいまち並みづくりとにぎわい創出基本計画検討委員会説明資料 • 資料①：策定方針 • 資料②：策定スケジュール • 資料③：行田市の景観まちづくりに関する市民アンケート調査・集計結果(速報値) • 資料④：上位・関連計画の整理とまち並みとにぎわいづくりの特性と課題 • 資料⑤：景観まちづくりワークショップの概要
その他必要事項	傍聴人4名

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
<p>宮本委員</p> <p>事務局（金子）</p> <p>桑田委員</p> <p>事務局（金子）</p>	<p>1 開会</p> <p>2 あいさつ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小林都市整備部長あいさつ <p>3 委員委嘱</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小林都市整備部長より、田尻委員に委嘱状代表交付 <p>4 議事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・互選により委員長に田尻委員、副委員長に桑田委員が決定 <p>（１）策定方針とスケジュールについて</p> <p>■ 資料①及び資料②を用いて事務局より説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どのエリアを視野に入れて検討すればよいのか、前提条件などがあれば教えて頂きたい。 ・基本的には市全体で考えていただきたいが、例えば北部地域には利根川をはじめとした田園風景が広がり、中心部地域には蔵や忍城址など歴史的建築物が存在するなど、それぞれ特色のある地域資源がある。地域資源については、第４章で議論を行い、それぞれの地域の方針を設定していく予定となっている。また、現在、中心部地域の行田市駅周辺エリアでワークショップを実施しているが、まちのにぎわいを創る上で、新町通り周辺をモデル地区としてまちづくりを進めていこうとしている所であり、これについては、第５章から第７章で整理していく予定である。市全体だけでなく、個別にモデル地区の施策も位置付けていきたいと考えている。 ・どの程度のスパンで計画実現を目指しているのか、計画の目標年次を教えて頂きたい。 ・短期的にできるもの、中長期的にできるものを整理していき、概ね１０年程度の計画期間として考えている。本市は人口減少が顕著で、にぎわいをつくることが喫緊の課題であることから本計画の策定後、速やかに事業化を進めて行きたいと考えていることから、１０年というスパンで計画しているが、適宜、評価・見直しを実施するなど、ある程度長いスパンで捉えつつも、個別で評価をして、

<p>佐野委員 事務局（金子）</p>	<p>まちづくりを進めて行きたいと考えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予算はどのような位置付けになっているのか。 ・今回の計画では具体的な施策を位置付けていきたい。現在、ワークショップで参加者からどのようなことを優先的に行ったほうがいいのか意見を集約しているところである。計画書の素案としてまとめていくが、プログラムのなもので位置付けるため、財政課等と協議をさせていただき、事業費の概算で見積もりをして計画書の裏付けをとっていきたい。
<p>宮本委員</p>	<p>(2) 市民アンケート調査結果について</p> <p>■ 資料③を用いて事務局より説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・速報という事で単純集計での説明を頂いたが、今後クロス分析は行われるのか。例えば回答者の性別は女性が多く、居住年においても20年以上の方が最も多いことから、年齢構成でみると相当ばらつきが見られると思われる。そういった年齢による意識の違いや、中心市街地の現状をどう認識しているかという事と、今後どうなっていくべきなのかという事、また、現在良いと考えている方が、同じところを今後活用したほうが良いと考えているのか、そうではないのか、といった分析は今後どうなっていくのか。
<p>事務局（金子）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート調査については、行田市都市計画マスタープランの策定の際にも実施させて頂いており、その際には年齢別の意見の集計や、男性・女性に対する意見の集計をさせて頂いた。それと同じような形で、年齢によって意見がどう変わるのかという所も今後詰めて整理をしていきたい。特に若い方の意見は非常に重要な要素であると考えられることから、クロス分析を実施していきたいと考えている。また、現状と将来の意見の違いについても整理をしていきたいと考えている。
<p>事務局（岩田）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域別の設問についてだが、アンケートの結果を踏まえて、傾向として表れている利根川や埼玉古墳、古代蓮の里などについても第4章において反映をしていくつもりである。クロス分析については、50歳代以上の方が約65%という事で、このよ

<p>朽木委員</p>	<p>うな方の意見ももちろん反映するが、若い子育て世代の方についても重点的にクロス分析を行い、傾向をきちんと把握していき、現状と今後を精査していきたいと考えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・回答者の約65%が50歳代以上であり、また約80%の方が居住年20年以上という事で、高齢の方が長年居住していることが本調査から読み取れるが、今後のまちづくりでは滞在人口を増やす事が必要で、佐野委員には今回の結果は観光資源や景観に関わる様々な問題に関わってくると思われるため、40歳代以下の方や今後この街で住みたいという方の意見として参考にして頂けたら良いと思う。そのため、佐野委員が所属する団体の方や、同級生などといったネットワークを活かし、今後のまちづくりの参考データとして活動に取り組んで頂きたい。
<p>佐野委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・青年会議所において若い方や参加された方にアンケートなどで意見を聞くが、行田の商店や歴史、遺産、文化を知らない方が意外と多いということを実感している。市報やケーブルテレビ、観光に関するチラシ等の配布はされているが、市内の魅力に気付いていない方が多いと思われる。市内の方が気付いていないのが、ひとつ問題であると感じる。アンケートについては約30%の回収率ということで、アンケートに返送する方というのは、まちづくりに対する意識が高い方であると思われるが、その中でも集計結果では、まちづくりに参加したくないという方が結構いる事が残念である。
<p>桑田委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・佐野委員の意見に私も同意であって、アンケート結果を事前に拝見したが、まだまだ取り組みを知らない市民の方が多いと思った。特に足袋蔵等をあまり知らないという意見があった事に少々驚いておる。また、意見の中で2～3年前にアンケートがあったがその結果はどうなったのかという意見があったが、事務局の説明によると都市計画マスタープランの策定の際のアンケート調査だということで、アンケート結果を市民の方が見られるように、報告書に掲載したり、市のホームページで公開する等が大事であると思う。その中に例えば、足袋蔵が資源として書かれていたり

事務局（金子）	<p>すると、そういうものもあるのかとアピールにも繋がると思われるので、是非アンケート結果を市民の皆さんに見て頂くようにして頂きたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート結果及び本日の資料、議事録については、市のホームページで公開する。また、ワークショップやアンケート結果を市報に掲載していきたいと考えている。また、現在実施しているワークショップニュースも作成・回覧により、積極的に情報発信をしていきたいと考えている。
事務局（岩田）	<ul style="list-style-type: none"> ・どの自治体でも同じかと思うが、市報などの広報誌でお知らせするだけでは難しいと感じている。我が街への愛着や誇りといったものを幼少期から感じ、気づいてほしいと思う。これは様々な角度からの教育に繋がると思われ、そういった部分への施策を展開していきたいと考えている。やはり、若い時からの刷り込みが必要なかと思われる。また、今現在の足袋蔵エリアのイメージは、資料③の p 1 8 にあるアンケートの結果では、⑯観光スポットについて 5. 1 % と非常に低く、それに対して p 2 2 の足袋蔵エリアの将来の望ましいイメージでは⑰観光スポットは 3 3. 6 % と高い値を示しており、足袋蔵エリアを観光スポットとして現在は認知度が低い、将来に対するまちづくりの望ましいイメージとしては非常に高い値となっているのが大きな特徴であると思われる。当然観光スポットだけでなく、買い物の場など市内の活性化の場として捉えられているため、このエリアの P R もしていきたいと思う。
田尻委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・私の研究室でも、以前外から来られた観光客の方と、中で活動している方に同じ項目を裏表で聞いた調査を行った。調査の母数が偏っていて信頼性が欠けるのかもしれないが、中の方と外の方の地域資源に対する認知度や温度感が同じ所とはっきり分かれている所の傾向が出て、そのギャップをいかに埋めていくかという事も重要であると感じた。それと同時に、行田らしいにぎわいとはどう定義して行けば良いのかと思う。一言でにぎわいと言うと、人によって異なり、にぎわいとは何であるのかと感じている所で

ある。それは恐らく外の方と中の方でも異なり、また中の方同士でも異なってくるかと思われる。ただ、にぎわいに対する一種の方向性のようなものが無いと、どちらに向かっているのかが一人一人解りづらいのかと思われる。また、まちづくりの幼少期からの醸成については、これも私どもの研究室でまちづくり教育をどうして行けば良いのか取り組んでおり、行田の子供は社会の時間等でまちづくりの授業を行っているが、あまり根付いていない様で、その原因は家庭環境等に影響があるという研究結果が得られており、なかなか一筋縄ではいかないと思うのと共に、人が育てていくものであると改めて感じている。

(3) まち並みとにぎわいづくりに関する特性と課題について

■ 資料④を用いて事務局より説明

並木委員

・ 関連計画には川のまるごと再生プロジェクト等も盛り込まれるのか。

事務局（岩田）

・ 計画自体はイメージとして貼り付けた計画ではなく、景観を中心とした動きのある計画にして行きたいと考えている。委員長から行田らしさとは何か、という話もあったが、行田は歴史資源が豊富で、古代からのストーリーのあるまちづくりができると思う。本市はよく川越市と比較されるが、川越市の様に資源が一箇所に集中していないことから、川の動線を使い、埼玉古墳群から忍城エリア、足袋蔵エリアなど古代のロマンが漂う動きのあるまちづくりを考えているため、川のまるごと再生プロジェクト等、ソフト的な部分を計画に取り入れていきたいと考えている。

富岡委員

・ 本計画は城下町、足袋蔵などハード的な景観整備を行うイメージなのか。行田にあるものを活かした地域づくり、景観整備を行う方向性なのか。

事務局（金子）

・ まち並みは道路整備や案内板の設置など、ハード的なイメージを、にぎわいはソフト寄りのイメージを有していると思う。それらを融合した計画の策定を考えていきたいと思う。まち並みとにぎわいを区別することは非常に困難で重複する分野もあり、例えば回

	<p>遊性の点においても、ハードだけでなくソフト的な部分も考えていくので、両方一体、対として考えた計画を作りたいと考えている。行田が備えている特徴を活かし、他に無い計画として本計画を進めて行きたいと考えており、ワークショップ等でも様々な声を聴きながら、計画を作り上げて行きたいと考えている。単にハード整備を行い、景観を作るというというよりは、市民の皆さんと共にまちづくりを行い、気運を上げて行きながら、最終的には行田は良いまちづくりを行っていると言え、皆さんが宣伝できる所まで行きたいと考えている。また、今回この計画を作ったという訳ではなく、次年度以降もワークショップや勉強会などを継続的にやり、市民の皆さんと一緒にまち並みを作りたいと考えている。</p>
<p>宮本委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> 行政が作る計画の中でも、今回は市の計画だけでなく県の計画も含まれており画期的だと思った。現在は、川のまるごと再生プロジェクトを含めて、商工会議所、青年会議所、自治会などの取り組みや、草むしりを行っている方など市内には様々な活動をされている方がおり、その様な細かい活動も含めて、この活動は行田ではこのような活動であって、皆で行うとこんなに良い活動なのだと言え付けていくべきだと思ふ。大きい体系ではなく、あらゆる方が行っている活動が繋がっていけないものかと思っている。このような事が出来れば、他の自治体でも出来ていない事が行田で実現できると思ふ。
<p>事務局（岩田）</p>	<ul style="list-style-type: none"> 狭義の景観という捉え方ではなく、皆さんの活動を取り上げて行き、計画作りの過程で施策に位置付けていきたいと考えている。
<p>桑田委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> 説明の中に、ゆくゆくは景観計画等の策定を含めているという話もあったが、私も県内の景観計画の話を知り、機会があったが、現在県内の市町村が作成した景観計画はあまり面白いものが無いと感じている。ほとんどが県の計画に縛られてしまっているものであり、私としては景観法以前に作られたこの景観形成基本計画は非常にオリジナリティーがあり、凄く良い計画であると思ふので、是非この良さを上手く活かして、景観法に合わせ没個性化を招くより、以

前の計画を活かして行くべきだと思う。また、宮本委員の発言のとおり、地域まちづくりにおいて協議会の立ち上げや活動への支援を行うなど、草の根的な活動を支援するプログラムを今回の施策の中に位置付けても良いのではないかと思う。以前に蔵づくりにおいて、地元住民の機運が高まり団体を立ち上げ、現在の活動に繋がっている事例が印象的であったが、そのような地域の種を拾っていく事、具体的には協議会の立ち上げ支援や活動への補助などの支援が重要となると考えられる。団体ヒアリングの結果からも、空き店舗を貸し出して若い人に入ってもらいたかったが上手く行かなかったという意見があったが、そういう事をスムーズに支援する等の役割が非常に大事であると考えられる。

事務局（金子）

・ 景観条例の制定については都市計画マスタープランで定めている。景観条例はいわば規制条例であり、制定するには景観法に基づく景観計画を定め、景観行政団体になる必要がある。今の状態のまま規制をかける事は非常に難しいため、皆さんの意識をボトムアップにより上げて行こうと考えており、今回の計画はその一歩という形であると考えている。景観形成基本計画は非常に上手く、それぞれの地域特性がまとめられているため、この計画と今回作成する計画と両面で進めて行きたいと考えている。まずは市民の皆さんとまちづくりを進めていきたいと考えている。また、まちづくり協議会の立ち上げや立ち上げに対する行政の支援制度についてであるが、現在実施のワークショップではまちづくり協議会を作り、エリアで方向性やコンセプトを決め、みんなで協力しようという様な意見も出ている。ワークショップの結果から、協議会の立ち上げやコンセプトを作り、まち並み等の整備について整理がなされるという中で、行政としてもそれに対する支援体制や施策・事業化等を検討して行きたいと考えている。

田尻委員長

・ 何をすべきか、という事を体系化するのは難しいが、今回の資料は分かり易くまとまっていると思う。市民活動についてだが、私どもは現在、市民活動促進委員会の活動を市内で行っており、そこでは中間支援やサポートセンター等を目指しているが、まち

<p>桑田委員</p>	<p>づくりに対する方向付けや動機付け、まちづくりに対してどのような貢献ができるのか、どのように役立つのか、まで含めた活動支援の方向に向かっていきたいと考えており、より広義での中間支援を行っていければと考えている。個々ではまちづくりは難しいので、そのような形もあるのでは、と思う。</p>
<p>事務局（金子）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中心市街地に駐車場や空き家、空き地が目立つが、これらに対する取組みも本計画にリンクしていくべきだと思う。 ・ 計画策定に併せて、空き地や空き店舗等を有機的に活用していきたいと考えている。また今回のモデル地区内においても一つの要素として考えていきたいと思う。
<p>田尻委員長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 街中には低利用な土地が多く存在するため、今後我々も考えて行かなくてはならないと思う。
<p>田尻委員長</p>	<p>(4) 景観まちづくりワークショップの概要について</p> <p>■ 資料⑤を用いて事務局より説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1回目のワークショップに参加したが、活発に意見が出された良いワークショップだった。2回目は参加できなかったが参加人数が減少してしまったようで残念だ。
<p>事務局（金子）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 知り合い等がいたら積極的に参加頂くよう声掛け願いたい。
<p>採決</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 他に質疑がなければ、本日の議事を終了させていただきます。
<p>審議終了</p>	<p>5 その他</p>
<p>事務局より次回開催日程について事務連絡</p> <p>(日時：平成25年12月13日(金)午前10時から 場所：行田市産業文化会館2階 2A会議室)</p>	<p>6 閉会</p>